

授業科目名 <英訳>	現代史学(特殊講義) Contemporary History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 小関 隆					
配当 学年	全回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時限	水4	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	第一次世界大戦の「長い影」										
【授業の概要・目的】											
今年度の授業では、「現代の起点」ともいふべき第一次世界大戦が惹起した諸問題が、その後の「現代世界」の展開をいかに規定したかを考える。さしあたりの射程はいわゆる「戦間期」となるが、必要に応じて第二次世界大戦後にも論及する。また、イギリスに議論の焦点を合わせつつ、アイルランド、アメリカ、さらにはヨーロッパ大陸諸国の情勢も適宜参照する。とりあげる論点は、ナショナリズム、デモクラシー、帝国、資本主義、平和主義、等である。第一次世界大戦の「長い影」が差す時代として「戦間期」を理解することが授業の眼目となる。											
【到達目標】											
第一次世界大戦との連続性という歴史的パースペクティブの下で、「戦間期」を把握する能力を身につけること。											
【授業計画と内容】											
以下に掲げたテーマの各々につき、1～3回程度の授業を充てる予定である。 (1) 第一次世界大戦とはいかなる戦争であったか？ (2) ナショナリズム (3) デモクラシー (4) 帝国 (5) 資本主義 (6) 芸術 (7) コメモレイション (8) 平和主義 (9) その他											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
レポートによる評価を基本とする。											
【教科書】											
使用しない											
----- 現代史学(特殊講義)(2)へ続く -----											

現代史学(特殊講義)(2)

[参考書等]

(参考書)  
授業中に紹介する

[授業外学習(予習・復習)等]

その他  
以下の文献をいくつかでも参照することが望ましい。

山室信一・岡田暁生・小関隆・藤原辰史(編)『現代の起点：第一次世界大戦』(全4巻)、岩波書店、近刊予定。  
人文書院刊の「レクチャー：第一次世界大戦を考える」シリーズ(既刊12冊、続刊予定)。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。